

2017 都議選

各党責任者に聞く②

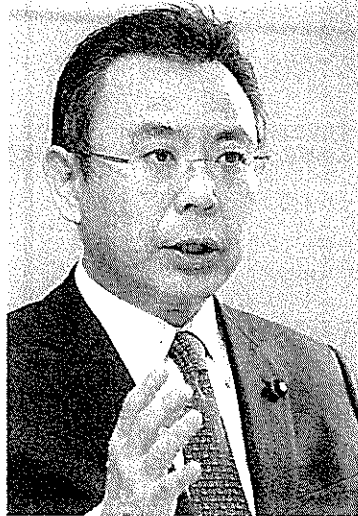
——市場移転問題では、都議選前の豊洲移転判断を求めている。

「莫大な公金を投入し、豊洲市場を建設した。いたずらな先延ばしは、都民にとってプラスにならない。議会として適切なチェックをするためにも、早期の判断を求めている。判断が都議選後になるなら、小池知事はその理由を説明するのが自然だと思う。市場問題を公約に入れるかどうかは、現在検討中だ」

——小池知事が事実上率いる

公明党都本部

高木 陽介 代表



小池都政と政策近い

地域政党「都民ファーストの会」と政策合意を結んだ。

「『都民ファースト』は、我々が掲げる『大衆とともに』と同じ意味合いだと感じている。都民ファーストの政策を進めることで、公明党の政策も実現で

きると考えている」

——今回の都議選は、どう戦うのか。

「過去の都議選では、6回連続で候補者全員の当選を果たした。今回も23人全員の議席を確保しなければならぬ。公明党は一定の固定支持層を持つ一方で、浮動票の獲得が課題だ。小池知事のイメージカラーである緑のポスターを作ったのも、小池知事の人気を追い風にする狙いがある」

——自民党とは連携を解消した。

「長年、協力関係にあったとはいえ、都議選はほとんどが中選挙区なので、これまでも選挙になれば、自公の候補者同士が戦ってきた」

——都議選後は自民とどんな関係が結ぶのか。

「議会がどのような勢力図になるか分からないが、都民ファーストの会の候補者には議会経験のない人も多い。議会は合意形成の場であり、対立を続けていても何も生まれない。安定した都政のためにも、会派間や知事と自民党の間立ち、合意形成の中心としての役割を担えるのは公明党だ」

小池都政を採点! 85点

【理由】待機児童への手厚い対策や私立高校授業料の実質無償化など、公明党と同じ方向を向き、取り組んでいる点

を評価したい。足りない15点分は2020年東京五輪・パラリンピックや築地市場の移転問題で、これから結果を出してほしいという期待を込めた。